

韓国土坪高校との交流

10月の受け入れスケジュール概略

10月13日(木)	9:00 バスで土坪高校より仁川空港 仁川空港発 10:20 福岡空港着 11:30 昼食 17:00 土坪高校着 歓迎式典 18:00 ホームステイ先へ
10月14日(金)	文化祭1日目 8:20 体育館にて全校生徒と対面式 ステージ部門鑑賞 11:20 展示部門鑑賞・昼食 13:50 土坪高校生によるステージ発表 16:00 一般生徒との交流会 17:30 ホームステイ先へ
10月15日(土)	文化祭2日目 8:20 ステージ部門鑑賞 10:50 展示部門鑑賞・昼食 13:05 体育館でステージ部門鑑賞 15:00 イルカウォッチング 17:30 学校帰着 ホームステイ先へ
10月16日(日)	終日自由 ホームステイ先 宿泊
10月17日(月)	7:20 学校玄関前集合 7:30 送別式 8:00 土坪高校を出発 12:00 福岡空港到着・昼食 15:00 福岡空港発 16:20 仁川空港着 19:00 土坪高校着



副校長 馬場 純二

「どうして帰るの？帰りたくない」4泊5日のホームステイを終えて帰るバスの中は、土坪高校の生徒の泣き声で溢れだしました。やつと泣き止んだのは、松島有禮道に乗る頃、それも誰かが携帯で写真を撮り始めるのと涙がこぼれ出ます。福岡空港前に、昼食に立ち寄ったレストランでは、全員、国道に出てヒッチハイクを始めました。「天草に戻りたい」。こまで彼女たちを去りがたくしていったものは何だったのでしょうか。



2年5組 寺井 瑞希
ナ・ヒョンジンさん

天高生の体験報告

平成26年、韓国で選ばれた高校生が日本を訪れ日本文化の体験や交流活動を行う、外務省JenSensプログラムが、天草高校を受入校として実施されました。そのとき団長を務めた土坪高校の校長先生が、天草高校の活動の素直ら、生徒の素直さ、意欲の高さに惹かれ、前田校長先生と天草高校との相互交流を申し込んだのが交流の始まりです。7月に天草から土坪へ、10月に土坪から天草へ、英語を共通のことで4泊5日のホームステイ交流が始まりました。



育友会会長 津田 博之

伝統ある天高と生徒たちへの愛を感じた120周年

11月22日、天草高校創立120周年記念式典が挙行了。式典では、校長式辞や来賓祝辞、生徒を代表して全日制生徒会長の古池昌昭さんと定時制生徒会長の竹本愛理さんが誓いの言葉を述べ、出席者全員で校歌を斉唱しました。

記念講演では、天高OBの航空電子システム&EMC研究所長の平田俊清氏が「社会ニーズが望む電子工学分野の研究開発〜21世紀は分進秒速SNSの時代」と題して、電波時計のための環境づくりについて、電波時計の全航空機に搭載義務のある航空機衝突回避システムを開発したことについて、講話をいただきました。システム開発では、「ぶつかるとかどうかが商品として世に出すためには、納落電、気圧の



海江田同志会長あいさつ



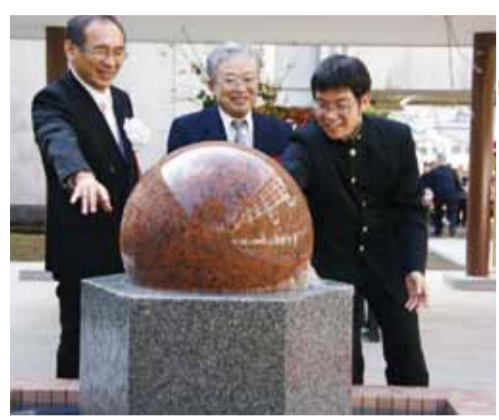
記念式典での前田校長のあいさつ



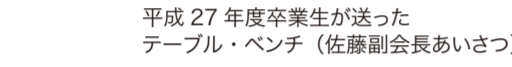
平田氏が電波時計を贈った場面



記念講演の平田俊清さん



中庭の石玉回転噴水前にて
左から前田校長、寄贈者岩崎國宏さん、
全日制生徒会長古池くん



平成27年度卒業生が送った
テーブル・ベンチ (佐藤副会長あいさつ)

天高総合大学 1・2年生対象に16講座を開講

知的好奇心を高めて

天高総合大学は、今年度11年目を迎えました。1・2年生対象に、九州各地から講師をお招きし、16講座を開講しました。

遠隔地である天草の生徒にとって、大学の学問に直接触れる貴重な機会とらえています。講師の方々の研究の端に触れることで、知的好奇心を高め、学ぶ意義について理解し、学習意欲を高めることを目的としています。天高総合大学の後には、その分野についての知りたい、図書館で本を借りる生徒の姿がありました。天高総合大学が、生徒と学問との出会いとなり、生徒の世界を広げるよう役立ってほしいと思います。

進路指導部 高木 直子

講義テーマ：ソーシャルビジネスで社会の問題を解決する
講師：宮崎大学 土屋 有氏

講義テーマ：食品の機能を探る〜食を知り、賢い選択と創造を〜
講師：宮崎大学地域資源創成学部 山崎有美氏



育友会副会長 下田昇一郎

生徒会と育友会の懇談会



懇談会の様子



製氷機 (H27年度納入)

学校教育活動への協力、教育環境の整備、また、生徒の健康で安全な生活を維持するための活動等をよりよいものにするを目的に本年度第1回育友会と生徒会との懇談会が行われました。

育友会、生徒会ともにそれぞれの思いを語り、大変有意義な懇談の時間となりました。

なお、生徒会からは次のような要望が出されました。

- ①各教室への扇風機の設置：クーラーをつけるまでもない時やクーラーの効き具合を良くするため。
- ②製氷機の増設：夏場の氷が不足するため。
- ③生徒会室のクーラー設置：現在クーラーがないため。
- ④自転車小屋の増設：1年生用の自転車小屋が不足しているため。
- ⑤部活動所有のバスの購入・修繕：現在2台あるバスが小さく乗り心地も悪いため。
- ⑥第二グラウンドの改修：駐車場等に使用するため、状態が良くない。

これらの要望に関しては、いずれも予算が発生する事業なので今後の状況を見ながら検討することになりました。なお、バス購入に関しては天草市所有のバスを買い取る方向で調査検討していく予定です。

7月韓国訪問の様子

1,100円でサムギョプサル食べ放題!

ソウル市内散策

ふわふわ抹茶かき氷

ホームステイを受け入れた保護者

寺井 真理子さん

10月13日から4泊5日の日程で、韓国土坪高校の9人の生徒が訪日しました。当初、受け入れに際して多少不安もありましたが、事前学習に参加することで、安心してこの日を迎えることができました。

ホームステイを受け入れた保護者

寺井 真理子さん

10月13日から4泊5日の日程で、韓国土坪高校の9人の生徒が訪日しました。当初、受け入れに際して多少不安もありましたが、事前学習に参加することで、安心してこの日を迎えることができました。

部活動成績

- 【体育系】
- 九州大会
 - 陸上部 第34回全九州高等学校陸上競技新人対抗選手権大会 出場
 - 熊本県予選大会男子800m 第2位 船元 駿佑(2年5組)
 - 男子ソフトテニス部
 - 平成28年度熊本県高等学校県下大会ソフトテニス競技学校対抗大会 第3位
 - 弓道部 第35回全国高等学校弓道選抜県予選大会 女子個人の部 4位 平井 愛華(2年5組)
 - 平成28年度熊本県高等学校弓道競技大会 女子個人の部 6位 船村真理愛(2年1組)
 - 【文化系】
 - 写真部 平成28年度春季写真コンテスト 入選 木本 采花(2年4組)
 - 文化部 社会を明るくする運動 標榜コンテスト 優秀賞 船村真理愛(2年1組)
 - 第63回熊本県高等学校家庭クラブ連盟研究発表大会 ホームプロジェクトの部 優良賞 丸山 愉貴(1年3組)
 - 第29回熊本県高等学校総合文化祭 標榜 優秀賞 友山 南(2年2組)
 - 「駆け抜ける！僕らの青春流星群」 福田 楓(1年2組)
 - 第38回九州高校放送コンテスト 熊本県大会 アナウンス部門 入選 河内 陽香(1年5組)

部活動紹介



硬式テニス部

私達は男子13名、女子7名で仲良く活動しています。男子は特に、文化祭でサイリウムダンスやバンド演奏を披露するなど、個性的なメンバーが多いです。今年の県総体では男子ダブルス、女子シングルスで3回戦進出、10月の男子団体戦でもベスト16に入るなど、これまで着実に結果を残してきました。この冬は体力作りや基礎練習を徹底し、更に技術を向上させ、次の県総体でベスト8進出を目指します。応援よろしくをお願いします。



女子バスケットボール部

私たちは、2年生9名、1年生4名の計13名で活動しています。目標は天草No.1&県ベスト16です。新チームになってからは基礎を中心に練習してきましたが、先日行われたウインターカップ県予選では思うような結果を出すことができませんでした。今は、自分たちの課題と目標をもう一度明確にし、次の大会に向けて踏み出しています。チーム全員がその課題と目標に対する意識を高く持つ練習に励み、必ず目標を達成したいと思っています。応援よろしくをお願いします。



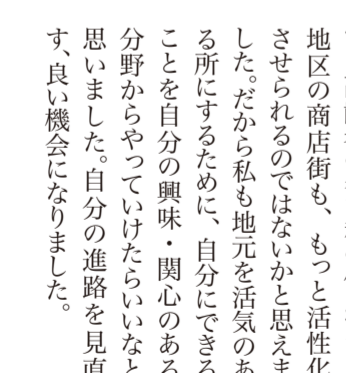
柔道部

天高柔道部は男子5名で稽古しています。柔道選手としては小兵ですが、日々の稽古の中で粘り強い柔道を目指しています。先日の上高大会で団体戦2回戦で強豪秀岳高校に敗退しました。次年度は高校総体団体ベスト8を目標としています。



囲碁・将棋部

私たちは、顧問の松田先生の指導のもと週1〜3回程度部室で活動しています。現在の部員は5人と少ないながら、仲良く日々の練習に取り組んでいます。今年度は、6月の総合文化祭で個人ベスト8に進出するなど少しずつ実績を伸ばしており、練習や大会を通じて棋力の向上を感じています。囲碁・将棋は頭脳で勝負する魅力ある競技です。興味のある人はぜひ部室にお越しください。今からの入部も大歓迎です。お待ちしております。



自分にできることから

私は、この講義を受講する前は経済学に全く興味がありませんでした。しかし、講義が始まると先生のテンポの良いお話しにどんどん引き込まれてきました。先生は「地方でも、やりたいことができる」とおっしゃっていたので、高齢者の多い私の住んでいる地区の商店街も、もっと活性化させられるのではないかと考えました。だから私も地元を気力のある所にするために、自分にできることを自分の興味・関心のある分野からやってみようと思いました。自分の進路を見直す、良い機会になりました。